

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



今年の冬は暖冬傾向（季節予報）



- 気象庁より発表された季節予報によると、今冬は寒気の影響を受けにくく**平均気温**は「**平年より高い**」でしょう（表）。

- **降水量**は「**平年並みか多い**」見込みです。

- 暖冬傾向ならば降雪の機会は少ないと予想されますが、どんな年でも一時的な寒気流入によりハラハラする時が数回あります。

- また、2月以降は「**南岸低気圧**」通過による降雪の可能性が示されています。

- 予報の影響は地域や栽培方式により異なります。最新の情報の入手を心掛けるとともに、**剪定作業**や**加温管理**等の状況に応じた実施をお願い致します。

表. 気温、降水量の各階級の確率(%) 関東甲信地方 R5. 11. 21発表

	12月~02月	確率(%)		
		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	12月~02月	10	30	60
	12月	20	40	40
	01月	20	30	50
	02月	20	30	50
降水量	12月~02月	20	40	40
	12月	30	30	40
	01月	20	40	40
	02月	20	40	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)



獣の冬の過ごし方



- 夏の間、野山を走り回り、時には農作物に被害を与えていた野生獣も冬季は、食料が不足し、十分な栄養を摂取できなくなります(写真)。

- そこで、**シカ**、**イノシシ**、**サル**等は残った木の実、落ち葉、ササの葉、木の芽や細い枝、それから木の幹の皮をかじりながら**活動量を低下**させて春を待ちます。

- **クマ**や**リス**は、樹や岩に開いた穴等に入り、体温を落として**冬眠**に入ります。

- **アライグマ**は家屋に入り込むと破損や異臭の原因となるので早めの**駆除**が必要です。



写真 スモモ園で見かけたサル(R5.7 南アルプス市)